内閣総理大臣 高市早苗殿

外務大臣 茂木敏充殿

非核三原則厳守、実行を求める要請書

高市早苗総理は、「安保３文書」の改定を年内におこなうことを表明し、その際、国是である「非核三原則」の見直しを行うことを否定していません。

高市総理は、これまで著書や報道番組などで、「非核三原則は拡大抑止と矛盾する」「現状では、核兵器を搭載した米艦や航空機が国内に立ち寄れない」と「持ち込ませず」の見直しを主張してきました。

こうした総理の言動に、いま多くの国民が、日本に米国の核兵器が持ち込まれ、核戦争に巻き込まれるのではないか、との不安と危惧を強めています。

事実、米政府は攻撃型原潜やトランプ級戦艦への海洋発射型核巡航ミサイルの搭載計画をすすめており、「持ち込ませず」を外せば、日本は日常的な核基地になりかねません。

広島・長崎の原爆の地獄を体験した日本政府は、非核三原則を「国是」として今後とも厳守し、世界に向けて核兵器禁止・廃絶を訴える先頭に立つべきです。日本を核戦争の足場にする一切の行動をただちに止め、核持ち込み密約をはじめ米国政府との合意を破棄するよう強く求めます。

【要請項目】

日本政府が非核三原則を厳守し、実行することを求めます。

２０２６年１０月１９日 原水爆禁止日本協議会